

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

上場会社名 平安レイサービズ株式会社

上場取引所

東

コード番号 2344

URL <http://www.heian-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 朗弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 浩彦 (TEL) 0463-34-2771

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,653	1.5	600	△1.7	670	△1.2	280	△35.7
2023年3月期第2四半期	4,585	8.3	611	28.6	677	22.7	435	19.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 280百万円(35.4%) 2023年3月期第2四半期 434百万円(18.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	23.03	—	—	—
2023年3月期第2四半期	35.62	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	33,768	20,383	60.4%
2023年3月期	33,932	20,285	59.8%

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 20,383百万円 2023年3月期 20,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
2024年3月期	—	14.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	9,932	2.7	1,588	6.4	1,708	5.0	1,117	6.1	91.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	12,306,795株	2023年3月期	12,306,795株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	139,100株	2023年3月期	139,100株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	12,167,695株	2023年3月期2Q	12,227,695株
------------	-------------	------------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済の概況は、先行きについては雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかな回復傾向が期待されます。但し、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、金融資本市場の変動等に十分注意する必要があります。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスによる収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

① 冠婚事業

当事業では、フォトウェディングや成人式などの各種衣裳レンタルや写真撮影といった商品の販売強化を行ってまいりました。また、コミュニティーウェディングの新スタイルとなるコーディネートを増やしSNSやWebでの露出を強化、衣裳や写真を中心としたプランや会食を伴う小規模ウェディング専用のプランを見直し告知を行うなど、新規顧客誘引に努めてまいりました。

その結果、売上高は119百万円（前年同期比7.9%増加）、営業利益は3百万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

② 葬祭事業

当事業は、平安レイサービス株式会社とさがみライフサービス株式会社の2社で構成されております。

当事業では、建物貸切型の小規模葬祭施設として2023年7月に小田原セレモニーホール別館「奏送館」を開業し、順調に施行件数を伸ばしました。

また、故人を生花で囲んで送る「花園」や思い出の品々で人柄を表現する「追悼壇」、オブジェや装飾と生花を融合させた「追悼生花祭壇」、重低音から超高音まで原音を忠実に再現する「オリジナル大型スピーカー」により故人を偲ぶ音楽葬の提案、その他社内製作によるオリジナル商品を通じてご家族の方々の想いを形にする提案を継続して行っております。感染症法上の位置付け変更がございましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底し、「貴殯室」をはじめとした不特定多数の人たちと交わらない施設の優位性を活かし、顧客満足度向上に努めてまいりました。

教育面では、当社独自となる生前相談の研修であるカウンセリングセールストーク研修、潜在的な想いを当社オリジナル商品を通じて具現化するコンサルティングセールストーク研修を常に現場で行えるよう、管理職に対して改めて実施しております。

その結果、前年同連結累計期間に比べ当社主要エリアの死亡人口増減率が下降する中、生前相談対応力を強化するため一括管理のコールセンター機能を構築し生前相談数は増加しました。一件単価も増加したことにより、売上高は3,980百万円（前年同期比1.4%増加）、営業利益は1,047百万円（前年同期比4.7%増加）となりました。

③ 互助会事業

当事業では、葬儀施行において互助会利用件数及び一件単価が増加したことにより、売上高は96百万円（前年同期比5.3%増加）、営業利益は51百万円（前年同期比13.5%増加）となりました。

④ 介護事業

当事業では、ある程度の人員確保ができ高齢者向け賃貸住宅などで収益は改善したものの、グループホームなどで教育期間中の人件費や物価高による運営経費の負担増加を補いきれませんでした。その結果、売上高は551百万円（前年同期比1.1%増加）となり、営業利益は17百万円（前年同期比29.2%減少）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,653百万円（前年同期比1.5%増加）、賃金上げと物価上昇の影響により営業利益は600百万円（前年同期比1.7%減少）、経常利益は670百万円（前年同期比1.2%減少）となりました。また葬祭事業において、新規拡大エリアでの施設開業期に新型コロナウイルス感染症の蔓延により施設開業後の営業活動が行えなかった影響を受け、234百万円の減損損失を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は280百万円（前年同期比35.7%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して160百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の支払い等により現金及び預金が52百万円減少しました。固定資産は、土地の取得444百万円があった一方、減損損失234百万円の計上等により、有形固定資産が216百万円増加、供託金の減少910百万円等により投資その他の資産が392百万円減少しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比較して240百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付等により未払法人税等が134百万円減少しました。固定負債では、前払式特定取引前受金が156百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して79百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月8日に公表いたしました業績予想のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,662,665	8,610,165
売掛金及び契約資産	218,362	260,991
商品及び製品	44,301	41,871
原材料及び貯蔵品	119,511	138,553
その他	183,696	192,609
貸倒引当金	△3,090	△3,290
流動資産合計	9,225,447	9,240,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,240,860	6,158,734
機械装置及び運搬具（純額）	196,191	202,377
工具、器具及び備品（純額）	191,694	170,758
土地	9,139,469	9,473,284
建設仮勘定	182,115	161,845
有形固定資産合計	15,950,332	16,166,999
無形固定資産	67,457	60,388
投資その他の資産		
投資有価証券	117,231	602,255
長期貸付金	10,000	10,000
繰延税金資産	416,215	468,211
供託金	6,326,000	5,416,000
敷金及び保証金	1,531,243	1,513,303
その他	288,196	290,638
投資その他の資産合計	8,688,886	8,300,409
固定資産合計	24,706,675	24,527,798
資産合計	33,932,122	33,768,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	206,190	189,943
未払法人税等	377,670	217,180
未払消費税等	96,154	81,425
掛金解約手数料戻し損失引当金	1,210	964
その他	728,014	813,919
流動負債合計	1,409,240	1,303,432
固定負債		
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	182,862	185,179
資産除去債務	157,693	159,903
前払式特定取引前受金	11,775,271	11,619,055
その他	37,789	33,702
固定負債合計	12,237,528	12,081,752
負債合計	13,646,768	13,385,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	16,775,522	16,873,186
自己株式	△115,783	△115,783
株主資本合計	20,283,650	20,381,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,703	2,199
その他の包括利益累計額合計	1,703	2,199
純資産合計	20,285,353	20,383,513
負債純資産合計	33,932,122	33,768,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,585,507	4,653,985
売上原価	3,257,209	3,302,455
売上総利益	1,328,297	1,351,530
販売費及び一般管理費	717,192	750,994
営業利益	611,104	600,535
営業外収益		
受取利息	431	690
受取配当金	600	733
掛金解約手数料	11,531	13,009
受取家賃	24,349	23,329
その他	37,832	38,355
営業外収益合計	74,745	76,118
営業外費用		
供託委託手数料	150	150
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	829	279
保険解約損	194	527
減価償却費	4,947	5,306
その他	1,861	331
営業外費用合計	7,983	6,594
経常利益	677,867	670,060
特別損失		
減損損失	—	234,234
特別損失合計	—	234,234
税金等調整前四半期純利益	677,867	435,826
法人税、住民税及び事業税	257,560	207,639
法人税等調整額	△15,184	△51,993
法人税等合計	242,376	155,646
四半期純利益	435,491	280,179
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	435,491	280,179

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	435,491	280,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,203	495
その他の包括利益合計	△1,203	495
四半期包括利益	434,287	280,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	434,287	280,674
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	677,867	435,826
減価償却費	270,725	306,984
減損損失	—	234,234
掛金解約手数料戻し損失引当金の増減額 (△は減少)	△305	△245
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	200
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,435	2,316
受取利息及び受取配当金	△1,032	△1,424
保険解約損益 (△は益)	194	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,293	△42,629
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,682	△16,611
仕入債務の増減額 (△は減少)	△19,449	△16,247
前払式特定取引前受金の増減額 (△は減少)	△158,388	△156,216
その他	△87,530	25,768
小計	677,530	771,955
利息及び配当金の受取額	913	968
法人税等の支払額	△270,357	△363,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	408,087	409,632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,490	△50,075
定期預金の払戻による収入	52,980	48,000
投資有価証券の取得による支出	—	△484,210
有形固定資産の取得による支出	△778,242	△698,185
有形固定資産の売却による収入	2,152	116
無形固定資産の取得による支出	△1,245	△22,365
供託金の払戻による収入	—	910,000
その他の支出	△18,942	△10,270
その他の収入	18,569	25,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△775,217	△281,390
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△169,387	△182,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,387	△182,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△536,517	△54,575
現金及び現金同等物の期首残高	8,694,913	8,539,760
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,158,395	8,485,185

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月26日 定時株主総会	普通株式	171,187	14	2022年3月31日	2022年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年11月7日 取締役会	普通株式	158,960	13	2022年9月30日	2022年12月6日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月27日 定時株主総会	普通株式	182,515	15	2023年3月31日	2023年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年11月7日 取締役会	普通株式	170,347	14	2023年9月30日	2023年12月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会 事業	介護事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	110,570	3,924,755	—	545,768	4,581,094	4,412	4,585,507
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	110,570	3,924,755	—	545,768	4,581,094	4,412	4,585,507
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	91,481	—	91,481	—	91,481
計	110,570	3,924,755	91,481	545,768	4,672,576	4,412	4,676,988
セグメント利益又は 損失(△)	△1,278	1,000,482	45,164	24,723	1,069,091	△426	1,068,665

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,069,091
「その他」の区分の損失(△)	△426
全社費用(注)	△457,560
四半期連結損益計算書の営業利益	611,104

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会 事業	介護事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	119,293	3,980,095	—	551,605	4,650,995	2,990	4,653,985
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	119,293	3,980,095	—	551,605	4,650,995	2,990	4,653,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	96,348	—	96,348	—	96,348
計	119,293	3,980,095	96,348	551,605	4,747,343	2,990	4,750,334
セグメント利益又は 損失(△)	3,535	1,047,571	51,255	17,512	1,119,874	△2,193	1,117,680

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,119,874
「その他」の区分の損失(△)	△2,193
全社費用(注)	△517,144
四半期連結損益計算書の営業利益	600,535

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「葬祭事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結期間末において、234,234千円であります。

(重要な後発事象)

当社は、2023年11月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

経済情勢の変化に対応した機動的な経営を行うため

(2) 取得に係る事項の内容

- | | |
|-------------|--------------------------|
| ① 取得する株式の種類 | 普通株式 |
| ② 取得する株式の数 | 200,000株(上限) |
| ③ 株式取得価額の総額 | 150百万円(上限) |
| ④ 自己株式取得の期間 | 2023年11月9日から2024年3月31日まで |
| ⑤ 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |